

第141回海上交通システム(MTS)研究会 ご案内
”関西国際空港連絡橋衝突事故の考察”
—走錨海難事故の防止に向けて—

台風等の異常気象に伴う走錨海難事故は、昭和29年9月に発生した青函連絡船「洞爺丸」走錨・転覆事故により1,100余名の方々が死亡・行方不明となったことを記憶されている方も少なくなってきたとはいえ、未だ後を絶たない状況にある。

昨年、当研究会のお膝元である関西地区に來襲した大型台風により、関西国際空港周辺に錨泊していた油槽船が走錨して関西国際空港連絡橋に衝突し、空港機能に支障を及ぼしたことは記憶に新しい。海上空港、危険物取扱施設等の重要施設が沿岸地域に立地し、また大型クルーズ客船、危険物積載船等が多数航行している輻輳海域で、今後この種の社会機能に大きな影響を与えかねない走錨海難事故防止の一助とすべく、この度、当研究会では、本衝突事故のみならず、船舶の荒天時の操船、錨泊、走錨、そして船舶そのものの堪航性、艤装等の観点から考察することとした。本考察については、141回例会と142回例会の2部構成で実施し、走錨海難事故の防止に一石を投げかけようとするものである。

参加通知は、事務局に例会、情報交流会それぞれについて出欠を明記し、e-mail(又は Fax、葉書)にて、6月13日(木)迄にお願いします。

プログラム

- 日時 令和元年6月20日(木)13:30~17:25 (17:30~19:30 情報交流会)
- 場所 神戸大学大学院海事科学研究科 (神戸市東灘区深江南町5-1-1)
総合学術交流棟1階 梅木Yホール
アクセス: <http://www.kobe-u.ac.jp/guid/access/fukae/index.html>
- 共催 神戸大学大学院海事科学研究科 国際海事研究センター・輸送システム科学研究部門
- 研究会次第
総合司会 副会長 澤井弘保
13:30~13:40 会長挨拶及び講演者紹介 会長 古莊雅生
13:40~14:25 走錨海難防止のための新たな航行ルールについて
第五管区海上保安本部交通部長 喜志多健史氏
14:25~15:10 2018年台風來襲時の大阪湾における錨泊状況に関する考察
神戸大学大学院海事科学研究科教授 若林伸和氏
15:10~15:30 会務報告及び休憩 会務報告 幹事 寺田政信
15:30~16:15 空港等重要施設が混在する海域における荒天避泊について
海上保安大学校名誉教授 日當博喜氏
16:15~16:25 小休憩
16:25~17:25 パネルディスカッション
講演者 及び 神戸大学大学院海事科学研究科国際海事研究センター客員教授
羽原敬二氏、公益社団法人神戸海難防止研究会専務理事 伊藤雅之氏
- 情報交流会 17:30~19:30 於: 総合交流棟1階ホール・・・多数の参加をお待ちしています
- 参加費 研究会(含む、資料、飲料)会員1000円、非会員3000円(但し、会員の紹介で会員同額)
情報交流会 会員・非会員 3000円
- 問合せ先: 〒658-0022 神戸市東灘区深江南5-1-1
神戸大学大学院海事科学研究科 国際海事研究センター・輸送システム科学研究部門
教授 古莊雅生(ふるしょう まさお)
MTS 事務局: Tel 078-431-6246/Fax 078-431-4683/e-mail:office@mts-matrix.org